

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社 インテージホールディングス
 コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮首 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務IR部担当 (氏名) 池谷 憲司
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5294-7411

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,178	5.2	271	17.1	246	23.3	1,499	—
26年3月期第1四半期	8,725	4.5	231	60.6	199	137.9	33	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,510百万円 (790.1%) 26年3月期第1四半期 169百万円 (301.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	74.54	—
26年3月期第1四半期	1.65	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	30,989	18,337	59.0
26年3月期	33,740	17,171	50.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 18,269百万円 26年3月期 17,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	27.50	27.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,600	5.9	900	2.3	770	△5.2	1,700	367.1	84.52
通期	44,000	3.5	3,200	△8.7	3,000	△11.3	2,730	66.2	135.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	20,808,000 株	26年3月期	20,808,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	695,052 株	26年3月期	695,052 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	20,112,948 株	26年3月期1Q	20,112,982 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日）におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動減や、新興国・資源国の成長鈍化、ウクライナ情勢の緊迫化といった世界情勢の影響が懸念されたものの、政府による各種経済政策等の効果により、企業収益および個人消費の大幅な落ち込みはみられず、総じて緩やかな回復基調となりました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高9,178百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益271百万円（同17.1%増）、経常利益246百万円（同23.3%増）、四半期純利益は1,499百万円（前年同期の四半期純利益は33百万円）となりました。

なお、当社の連結子会社である株式会社アスクレップが平成26年6月2日を効力発生日として、臨床開発事業及びこれに付随する事業を株式会社アスクレップが新たに設立した100%子会社であるエイツーヘルスケア株式会社に承継し、同日、同社の発行済株式の全部を伊藤忠商事株式会社に対して譲渡いたしました。これに伴い、関係会社株式売却益として2,911百万円の特別利益を計上しております。なお、当該特別利益は、本日公表の連結業績予想に反映されております。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

① 市場調査・コンサルティング事業

市場調査・コンサルティング事業は、株式会社インテージにおいてSCI（全国個人消費者パネル調査）、i-SSP（インテージシングルソースパネル）、SRI（全国小売店パネル調査）といった主要パネルや、株式会社医療情報総合研究所の処方情報分析サービスの売上が前期を上回ったことなどにより、増収増益となりました。

この結果、市場調査・コンサルティング事業の連結業績は、売上高6,770百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益278百万円（同2.7%増）となりました。

② システムソリューション事業

システムソリューション事業は、前期に引き続き、株式会社インテージおよび株式会社インテージテクノスフィアにおける受注状況が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

この結果、システムソリューション事業の連結業績は、売上高1,288百万円（前年同期比27.6%増）、営業利益は159百万円（前年同期の営業利益は9百万円）となりました。

③ 医薬品開発支援事業

医薬品開発支援事業は、株式会社アスクレップにおいて顧客ニーズに対応したEDC（電子的臨床検査情報収集）システムの受注が好調に推移したものの、臨床開発事業及びこれに付随する事業を譲渡したことにより、減収減益となりました。

この結果、医薬品開発支援事業の連結業績は、売上高1,120百万円（前年同期比24.5%減）、営業損失167百万円（前年同期の営業損失は49百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,434百万円減少し、19,291百万円となりました。これは、現金及び預金が783百万円、仕掛品が695百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3,681百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ315百万円減少し、11,697百万円となりました。これは、のれんが278百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は2,750百万円減少し、30,989百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,387百万円減少し、9,294百万円となりました。これは、短期借入金が3,736百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ528百万円減少し、3,358百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が427百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は3,916百万円減少し、12,652百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,165百万円増加し、18,337百万円となりました。これは、利益剰余金が1,245百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支給見込期間及び支給見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産及び利益剰余金が、それぞれ174,948千円、298,920千円増加し、退職給付に係る負債及び繰延税金資産が、それぞれ289,574千円、165,602千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益、セグメント情報及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,943,759	8,727,589
受取手形及び売掛金	9,830,446	6,148,601
仕掛品	1,453,724	2,148,820
貯蔵品	45,682	48,174
繰延税金資産	1,132,052	1,061,893
その他	1,321,189	1,157,314
貸倒引当金	△519	△508
流動資産合計	21,726,335	19,291,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,856,383	1,749,535
器具備品（純額）	416,366	377,351
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産（純額）	720,746	678,309
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	4,991,652	4,803,352
無形固定資産		
のれん	1,345,256	1,066,925
その他	1,222,813	1,156,162
無形固定資産合計	2,568,070	2,223,087
投資その他の資産		
投資有価証券	965,748	1,204,034
繰延税金資産	1,373,076	1,163,643
退職給付に係る資産	827,425	1,016,433
その他	1,287,736	1,300,804
貸倒引当金	-	△13,446
投資その他の資産合計	4,453,986	4,671,469
固定資産合計	12,013,710	11,697,909
資産合計	33,740,045	30,989,795

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,006	1,906,650
短期借入金	3,893,056	156,875
リース債務	314,165	296,705
未払法人税等	1,407,293	1,049,190
賞与引当金	1,505,417	747,561
ポイント引当金	867,010	903,974
役員賞与引当金	3,000	2,000
資産除去債務	-	139,100
その他	2,270,995	4,092,394
流動負債合計	12,681,944	9,294,452
固定負債		
長期借入金	37,000	-
役員退職慰労引当金	29,000	4,000
退職給付に係る負債	3,321,845	2,894,460
リース債務	498,712	456,611
その他	-	2,970
固定負債合計	3,886,557	3,358,042
負債合計	16,568,501	12,652,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,688	1,336,688
利益剰余金	14,012,756	15,257,841
自己株式	△533,097	△533,097
株主資本合計	16,497,746	17,742,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,738	16,185
為替換算調整勘定	350,706	304,624
退職給付に係る調整累計額	155,211	205,676
その他の包括利益累計額合計	527,656	526,486
少数株主持分	146,140	67,983
純資産合計	17,171,543	18,337,300
負債純資産合計	33,740,045	30,989,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,725,561	9,178,613
売上原価	6,550,381	6,794,379
売上総利益	2,175,180	2,384,233
販売費及び一般管理費	1,943,286	2,112,785
営業利益	231,893	271,448
営業外収益		
受取利息	1,413	639
受取配当金	24,867	26,961
受取保険金及び配当金	1,563	17,057
その他	4,060	7,042
営業外収益合計	31,905	51,701
営業外費用		
支払利息	11,138	13,676
持分法による投資損失	30,162	45,933
為替差損	12,199	6,090
その他	10,654	11,219
営業外費用合計	64,155	76,920
経常利益	199,644	246,228
特別利益		
関係会社株式売却益	-	2,911,668
負ののれん発生益	-	5,877
特別利益合計	-	2,917,546
特別損失		
事業譲渡損	13,626	-
減損損失	-	178,398
特別退職金	-	131,420
退職給付制度終了損	-	284,838
その他	-	7,500
特別損失合計	13,626	602,156
税金等調整前四半期純利益	186,017	2,561,618
法人税、住民税及び事業税	19,224	962,993
法人税等調整額	135,651	88,203
法人税等合計	154,876	1,051,197
少数株主損益調整前四半期純利益	31,141	1,510,420
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,134	11,151
四半期純利益	33,276	1,499,269

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,141	1,510,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△718	△5,553
為替換算調整勘定	139,233	△47,067
退職給付に係る調整額	-	52,374
その他の包括利益合計	138,514	△245
四半期包括利益	169,656	1,510,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,443	1,498,099
少数株主に係る四半期包括利益	△787	12,075

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	市場調査・コンサル ディング (千円)	システムソリュー ション (千円)	医薬品開発支援 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	6,231,239	1,009,854	1,484,467	8,725,561
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,231,239	1,009,854	1,484,467	8,725,561
セグメント利益又は損失(△)	271,632	9,751	△49,490	231,893

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	市場調査・コンサル ディング (千円)	システムソリュー ション (千円)	医薬品開発支援 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	6,770,276	1,288,265	1,120,071	9,178,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,770,276	1,288,265	1,120,071	9,178,613
セグメント利益又は損失(△)	278,856	159,759	△167,167	271,448

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。